

第2期 高森町観光立町推進計画

—概要版—

観光には以下の3つの力があります。高森町が観光に取り組む理由です。

観光の持つ「3つの力」

町の経済発展

観光は旅行業、飲食業、宿泊業、小売業、商業、農林業、運輸業、製造業など広範な産業と関連が深く、町内経済への波及効果や雇用創出を期待できます。

住民の誇り・町への愛着心の強化

長年にわたり、守り受け継いできた自然や食、歴史・文化、行事、祭り事などを観光客に伝え広めて満足してもらうことで、地元を誇りに思い、大事にする心を作ります。

豊かな生活空間づくり

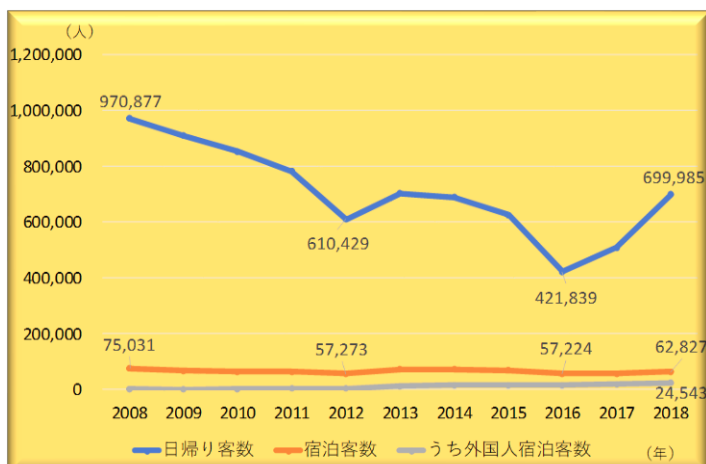
住民と観光客にとって、魅力的な地域づくりに取り組むことで、結果的に住みよいまちづくりにつなげることができます。

■高森町の観光産業は、熊本地震によって大きな被害を受け、現在も道路や鉄道、施設の復旧など、観光客の誘致に向けて取り組んでいます。

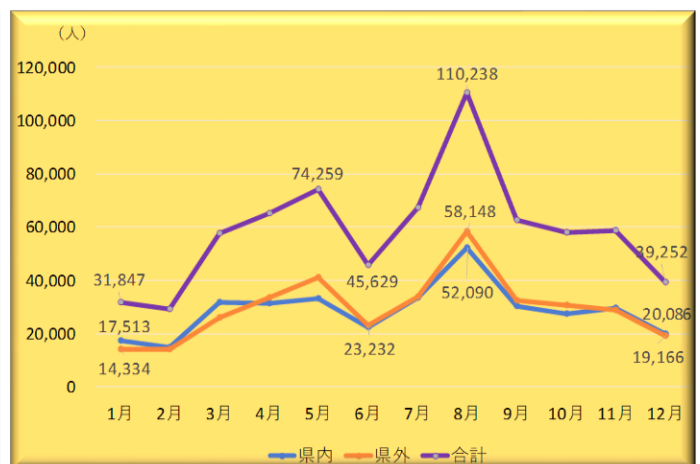
また、季節による観光客数の変動は経営の不安定要因ともなっています。

■高森町では、観光の持つ「3つの力」によって町が活性化することを目指して、効果的・集中的に観光産業の復興に取り組んでいきます。

【高森町 日帰り・延べ宿泊客数の推移】



【2018年 月別高森町 日帰り訪問客数の推移】



目標1 選ばれる！ 新たな観光地・観光資源の創出形成

[現状と今後の目標]

10月に行った観光客アンケートの結果では、町内を周遊する観光客は2割程度に過ぎず、すぐに町外へ移動しています。そのため、来町までの交通手段と町内での移動手段を整備し、魅力的な観光資源を増やして、少しでも長く滞在してもらえるよう、魅力づくりをすることが必要です。

[具体的な取り組み]

- ① 観光客が来訪しやすい交通網の整備
鉄道整備、JR線乗り入れ、国・県・町道の整備、駅整備、新駅設置
- ② アニメ活用やエンターテインメント業界との新たな観光旅行の開拓
- ③ 既存の観光資源の磨き上げ（自然景観、食、歴史・文化、観光施設等）

[2025年に達成する目標]

- ・日帰り客 年間120万人
- ・宿泊客 年間10万人

目標2 地域団体・観光事業者等との連携強化及び組織の充実

[現状と今後の目標]

観光産業の隆盛には、観光事業者の自己努力に加えて、その活動をサポートし、牽引する団体が必要です。高森町では「高森町観光協会」とまちづくり団体「(一社) TAKARA MORI」があります。両者を統合し、より効率的で強力な事業運営を推奨します。また、地域で活動する任意団体の活動のために法人化を支援をします。

[具体的な取り組み]

- ① 収益性の高い団体を創出するための連携強化を行う。

[2025年に達成する目標]

収益性を持った観光団体及び地域団体を個別に作る

目標3 官民連携による観光人材育成

[現状と今後の目標]

観光客が、訪問先で満足感を得る大きな要因となるのが人から受けるサービスの質です。つまり、地元の方の「おもてなし」が重要になります。そのため、観光事業者だけでなく、広く町民から観光客と町をつなぐ「観光コーディネーター」を募集し、「おもてなし」研修会等を実施し、人材育成を行います。

[具体的な取り組み]

- ① 観光コーディネーターの募集、育成、登録制度を開始
- ② 観光コーディネーター、観光事業者への「おもてなし」研修会等の実施
- ③ 地域おこし協力隊の募集と観光業発展への寄与

[2025年に達成する目標]

観光コーディネーター数
50人

目標4 景観の保全とリンクする新たな取り組み

[現状と今後の目標]

「景観の良さ」は観光客の満足度、再び訪れたい気持ちに大きく貢献します。美しい自然や風景は、旅の大きな目的のひとつです。そのため、景観の美しさを維持するとともに、景観を損なうものについては排除することが望まれます。

[具体的な取り組み]

- ① 「日本で最も美しい村」に関する取り組みを加速させる
- ② 九十九曲がりの利活用を進める
- ③ 景観基本条例の理解を進める
- ④ 新たな排水池の整備（前原地区）

[2025年に達成する目標]

「日本で最も美しい村連合」加盟更新／九十九曲がりイベント実施／景観保全要領策定、排水池の整備

目標5 国際観光の振興

[現状と今後の目標]

東京オリンピック・パラリンピック、大阪万国博覧会などの大規模イベントなどによる外国人観光客の増加が見込まれています。熊本県の観光計画や阿蘇くじゅう観光圏整備計画においても、外国人観光客の取り込みや受け入れ体制の強化を掲げています。高森町でも外国人旅行客の受入れ体制整備を進めていきます。

[具体的な取り組み]

- ① 多言語案内表示や外国語対応スタッフ等、民間の受入体制の支援
- ② 駅や観光スポット等、主要施設に多言語案内表示等を設置
- ③ 外国人観光客にとってわかりやすい情報を提供するためのガイドラインを策定

[2025年に達成する目標]

- ・外国人観光客 33,000人
- ・多言語案内可能な施設 5施設

目標6 観光旅行者・来町者の利便性向上

[現状と今後の目標]

観光客や来町者には満足して帰ってもらうことが重要です。これによってリピーターや口コミ、SNSによる新たな来訪者の獲得につながります。そのため官民連携によって、観光スポットの利便性を高め、また、高齢者、障害者等に配慮した優しいまちづくりに取り組みます。また、高森駅を拠点とし、阿蘇市や高千穂町へのバス運行の利便性向上を図ります。

[具体的な取り組み]

- ① 案内板設置や駐車場整備、フリーWi-Fi、キャッシュレス化などの官民連携の取り組み
- ② 階段のスロープ化、床段差解消、視覚障害者用誘導ブロックなどバリアフリー化への対応や支援

[2025年に達成する目標]

- 観光客の満足者 90%
- 高森駅を拠点とする長距離バス路線 2路線

目標7 観光旅行者・来町者の安全確保

[現状と今後の目標]

観光客や来町者が町内滞在中に起きた災害や不慮の事故について、その発生状況や避難経路、避難場所等の対処情報を容易に入手することができるよう、情報提供に努めます。

[具体的な取り組み]

- ① 災害発生状況等、緊急情報をオープンデータと連携し、たかもりポイントチャンネルやホームページ、公式 SNS、防災行政無線等をフル活用して提供する。

[2025年に達成する目標]

- オープンデータの活用による町内避難場所・施設の公表

目標8 町民への観光に関する理解促進と広報宣伝

[現状と今後の目標]

町の観光施策や観光行事やイベントなどについて、町全体で情報を共有し、町民一人一人が紹介したり、宣伝したりすることで、町を盛り上げていきます。

[具体的な取り組み]

- ① たかもりポイントチャンネルやホームページ、公式 SNS を活用し、親しみやすく、わかりやすい情報を発信する回数を増やす。(現状は月2回程度)
- ② SNS を活用して、町民が町の魅力を発信できるように仕組みづくりを構築し、発信回数を増やす。(現状はイベント時に適宜実施)

[2025年に達成する目標]

- TPCでの町観光イベントの放送実施(週1回) / WEB サイト、SNSでの情報発信(週2回以上)

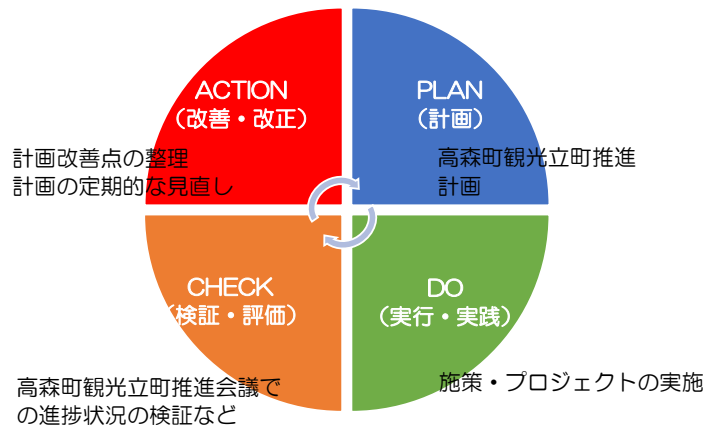
「高森町観光立町推進計画」の推進体制

観光による町づくりを進めるためには、町民、観光事業者、観光関連団体、行政などが一緒に取り組む体制づくりが必要です。この計画において、町全体が一体となった施策の実施に努めます。

あわせて、計画（PLAN）を実行（DO）し、評価（CHECK）し、見直し（ACTION）改善するために、進捗管理が必要です。この役割を計画策定に関わった「高森町観光立町計画推進会議」が担います。

今回の計画は、令和6年度までに検討・実施できるものを掲げています。

「高森町観光立町推進計画」推進体制（進捗管理体制）



期待される役割

町民の役割

町民一人ひとりが、町の自然、歴史、文化、食などに誇りと愛着を持ち、地域の魅力を自分たちで創り上げるといった気持ちを持ちます。

また、高森町を訪れる人々をあたたかく迎え入れる「おもてなし」の気持ちを持って生活します。

観光事業者の役割

観光客と接することが多い宿泊施設や観光施設、物産館、飲食店、交通事業者などの観光事業者は、接客対応の能力、知識などを含め「おもてなし力」の向上に努め、質の高いサービスの提供に努めます。

観光関連団体の役割

高森町観光協会、高森町商工会等は、観光地域づくりを担ううえで大きな役割を持ちます。

組織・体制の充実、効率化を図り、観光関連団体の連携を強化するとともに、広報・プロモーション活動やイベントの開催などにより、高森町経済の活性化に努めます。

行政（高森町）の役割

町民や観光事業者、観光関連団体が事業を行うにあたって、その活動がスムーズに行えるよう環境の整備など、積極的に支援します。

また、町民や観光事業者、観光団体との情報共有に努め、町全体の力が発揮できるような仕組みづくりを推進します。

第2期 高森町観光立町推進計画（令和2年2月策定）

高森町 政策推進課 商工観光係

〒869-1602 熊本県阿蘇郡高森町大字高森 2168

電話：0967-62-2913 FAX：0967-62-1174